

Governor's Monthly Communication

Vol. 2
2014.8.1

Content

- 表紙・2…第 105 回ロータリー国際大会に出席して
- 3 ……「会員増強および拡大月間に因んで」
- 4 ……地区大会のご案内
- 5・6・7…担当地区委員長挨拶
- 7 ……文庫通信
- 8 ……2015 - 2016 年度派遣交換学生募集



2014 - 2015 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C.K. ホアン (黄其光)

国際ロータリー第 2690 地区 (鳥取・島根・岡山)
2014 - 2015 年度 ガバナー **松本 祐二**
(地区スローガン) 「笑顔でSERVICE」



第 105 回 ロータリー国際大会に 出席して

国際ロータリー 第2690地区
2014-2015年度 ガバナー

松本 祐二 (Yuji Matsumoto)



2013-14年度の国際大会はオーストラリアのシドニーで開催されました。昨年リスボン大会、一昨年バンコク大会と連続3回目の出席となりました。5月30日の夜に成田空港からのフライトでした。今回の大会には本大会の前日の5月31日にEnd Polio Now-Make History Today 3K Walkと

いう3キロ歩いてポリオ撲滅支援というイベントがあり事前にインターネット上で登録して参加してみました。約9時間の飛行で早朝のシドニーに到着後、空港から会場のあるシドニー・オリンピック・パークに直接向かいました。2000年に開かれたオリンピックの会場の施設を使っただけの大会でした。広い受付会場では当地区の伊藤文利PG御夫妻がSAAをされており色々とお世話になりました。本大会の登録確認を済ませてICカードのついたネームカードを受け取り3キロウォークの受付会場に回りました。日本人の姿もかなり見かけ、知り合いのロータリアンとも出会いました。開会式ではロンド、バートン会長の鳴らす合図でウォーキングが始まりました。実際に歩いてみると4キロ余りあったようで、飛行機の中での運動不足の解消にはなりました。

その後、会場を離れてシドニー湾を望むレストランでシーフードを楽しみ、連絡船を乗り継いでオペラハウスやシドニーブリッジを海から眺めホテルに入りました。



6月1日は早朝から日本人朝食会が宿泊していたホテルの近くで開催され出席、思いがけずに愛知県のロータリアンで大学の同級生にも出会いました。日本人朝食会の会場から本会議場まではシドニー市内の電車で約30分ですので、いったんホテルに帰ってゆっくりと会場に向かいました。11時半からの第1回目の開会式に出席しましたが、友人の多くが第2回目の開会式に出席予定ということで別行動となり一人で会場に向かいました。会場ではフェイスブック上で交流のあるロータリアンで、友愛の広場に展示ブースを出している広島ロータリアンと初めて出会い二人で一緒に開会式に出席しました。

開会式では開会宣言と歓迎の辞が、シドニー国際大会委員長からあり、続いてニューサウスウェールズ州知事、そして、トニー・アボット首相が歓迎の辞を述べに登壇され、首相自らの祝辞の中でオーストラリア政府がポリオ撲滅のために1億ドルの寄付をすると発表して会場内のロータリアンは総立ちで拍手をしていました。その後は約1時間オーストラリアのヒューマン・ネイチャーという4人の男性ヴォーカルグループの余興を楽しみました。

国際大会の友愛の広場では、東日本大震災の孤児をイギリスから支援している、ロータリアンの田中ソロウエイ明美さんのブースでしばらく話し込んでいました。



6月2日の夜は第2690地区の森本信一ガバナーご夫妻主催のシドニーでのガバナーナイトが開催され市内中心部の日本料理店で地区内からの出席者のうち渡辺元RI理事、そして佐藤ノミネーご夫妻など10人ほどが集まり色々と情報交換をしました。



3日は会長エレクト主催リーダーシップ昼食会、翌日はOn to Sao Paulo昼食会にも出席して、多くのロータリアンとの交流をすることができました。バンコク大会、リスボン大会でも同様でしたが、今回は多くのフェイスブックなどのインターネット上の友人と初めて出会うというチャンスが多く初めて会ってもお互いが何となく知り合いという不思議な感覚を何度も味わいました。その後閉会式ではRI会長エレクトのゲイリーC.K.ホァン氏の講演があり、国際協議会の時と同じくロータリアンの活動をロウソクに例えての「ロータリーに輝きを」についての演説を聞いていました。



「会員増強および拡大月間に困んで」

国際ロータリー 第2690地区
ガバナーエレクト

佐藤 芳郎 (Yoshio Sato)

RIは「増強」を毎年の重点目標に挙げており、全世界の会員数130万人を目指しています。2013-14のR. パートン会長も会員増強を強調されましたが、2014-15のG.ホアン会長も「ロータリアン一人一人がロータリーに輝きをもたらす」ことでロータリーの強化増強を提唱されています。また2015-16のK.R."ラビ"ラビンドランRI会長(エレクト)も特に若い世代と退職高齢者を意識しての勧誘と、地域別対応策策定での増強達成を最優先課題と位置づけられています。さらに2013年の規定審議会では、退職者や家庭の主婦にも会員資格が認められ、新会員候補者の範囲は拡大されています。

わが第2690地区においても日米の傾向と同じく会員減少は続き、かつての4千人超から約3千人にまで減少しており、森本直前ガバナーも松本ガバナーも地区重点目標に増強を掲げておられます。他方で、会員数の減少や低迷を、デフレ継続による地域経済の疲弊の結果という声をよく耳にします。また、「増強」は自分のことではなくて増強委員長が頑張ればよいとか、周りに新会員候補がないのだから仕方がないとか他人事であるような発言が多いのも寂しい現実です。環境や他人のせいにしたところで事態が改善するわけではありません。「増強」を地区やRIだけに任せるわけにはゆきません。やはり、地区内の各クラブと各ロータリアンが個別に打開策を考案・実行することが肝心です。

「増強」は各クラブにとって直面する死活問題なのです。当たり前の話ですが、クラブ会員の平均年齢は一年たてば1歳上昇します。現在平均年齢55歳のクラブを仮定すると、新会員の入会がなければ10年後には平均年齢65歳に、15年後には70歳になってしまい、徐々にクラブの活動に支障を来すことが予想されます。さて、このクラブの会員数が50名で毎年2名の退会者があるとして、代わりに50歳の新会員を2名入会させることができるとすれば、一年後の平均年齢は55.7歳、10年後には60.8歳となります。もし一年後に平均55歳を維持したいなら新会員は31歳であることが必要です。クラブの活力維持には「増強」の前に「まず補強」が大切であることがよくわかります。

私見ですが、「増強・補強」には、一見遠回りのようです

が「クラブの活性化」が重要と考えています。クラブ会員が「ロータリークラブに所属して良かった」とか「ロータリー活動が楽しみである」とか感じるクラブが望ましいと考えています。現会員がロータリーを楽しみ、意義を感じ、相互理解を深めて真の友人を得、奉仕の理想に燃え、進んで奉仕を実践するような「前向きな雰囲気づくり」が大切でしょう。個々の会員一人一人がロータリーに自分の居場所を見つけ、ロータリーを好きになったら、自分の回りの人にロータリーの良さを説明し、一緒に活動しようと、自信を持って入会勧誘できるようになると思います。「増強はご褒美である」といわれる所以であると感じます。

拙文をご覧のロータリアンの皆様、これから奮って積極的にロータリー活動に参加して、是非ロータリーを「好き」になってください。また、クラブリーダーの皆様には、貴クラブの会員の皆さんがロータリーを「楽しみ」「好きになる」運営をお願いいたします。



Rotary 

2014-2015年度 国際ロータリー 第2690地区/鳥取・島根・岡山

地区大会のご案内

2014年10月4日(土)～5日(日)

■大会登録料 会員 5,000円 ご家族 3,000円 事務局 2,500円 懇親会 5,000円

10月3日

記念親睦 チャリティーゴルフ大会

会場 金城カントリークラブ

- 開始時間 午前8:30スタート
- 表彰式・懇親会 16:00～
- 参加登録料 5,000円(賞品代・懇親会費)
- プレーフィー 10,000円(昼食代含む)

※キャディーが必要な場合は、別途費用がかかります。

第1日目

10月4日(土)

会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」/ホテルサンパレス益田

地区指導者育成セミナー

■受付 14:00～ ■開会 14:50～ ■登録料 6,000円

ガバナー補佐・会長・幹事会

■開会 16:50～

**RI会長代理ご夫妻
歓迎晩餐会**

■受付 17:30～ ■開会 18:00～
■登録料 15,000円


ソプラノ歌手/澤江 衣里 Eri Sawae



国際ロータリー
第2690地区
2014-2015年度
ガバナー
松本 祐二



国際ロータリー
第2690地区
2014-2015年度
地区大会実行委員長
石田 明

第2日目

10月5日(日)

本会議 ■受付 9:00～
■開会 10:00～

記念講演 13:00～14:00

演題 『和魂和才・すこやかに生きる漢方の知恵』



講師 寺澤 捷年 Katsutoshi Terazawa
千葉中央メディカルセンター 和漢診療科・部長

略歴 Profile

昭和45(1970)年 千葉大学医学部卒業
昭和50(1975)年 同・大学院入学(中枢神経解剖学専攻)
昭和54(1979)年 同・大学院同修了(医学博士)
富山医科薬科大学附属病院和漢診療科部長
平成11(1999)年 富山医科薬科大学医学部長(兼任・2ヶ年間)
平成14(2002)年 富山医科薬科大学副学長・附属病院長(専任・2ヶ年間)
平成16(2004)年 富山医科薬科大学大学院医学研究科教授(21世紀COEプログラムPMOP担当)
平成17(2005)年 千葉大学大学院医学研究院和漢診療学教授

懇親会 16:00～

■エクスカージョン 〓雪舟庭園をたずねて〓
12:00～15:00 ■登録料 3,000円

10月12日


記念親睦テニス大会

※小雨決行(判断は当日7:00にします)


会場 岡山県総合グラウンド内 南テニスコート

- 開始時間 10:00～
- 参加登録料 (懇親会費含む) 10,000円 / (プレイのみの場合) 5,000円

主管: オール岡山ロータリアンテニスクラブ
○チェアマン/延原 正(岡山南RC) ○キャプテン/清水 信義(岡山RC)



国際ロータリー
2014-2015年度テーマ
ロータリーに輝きを



国際ロータリー
第2690地区スローガン
笑顔で SERVICE

ホストクラブ

益田西ロータリークラブ
益田ロータリークラブ
浜田ロータリークラブ
江津ロータリークラブ
大田ロータリークラブ

国際ロータリー第2690地区
2014-2015年度 ガバナー 松本 祐二

〒698-0033 益田市元町12-7 益田商工会議所1F
TEL(0856)25-7269 FAX(0856)25-7268 E-mail:office@rid2690.com

担当地区 委員長挨拶

地区会計長・地区資金委員会委員長

能地 茂男



今年度、地区会計長・地区資金委員会委員長を拝命いたしました、益田西RCの能地でございます。本年度は、4月の消費税アップ、会員数の減少、第2690地区の西の端という地理的要因による交通費の増等、厳しい地区財政になると思いますが、節約、合理化を推進し支出抑制を図りたいと思います。

しかしながらRIテーマ「ロータリーに輝きを」、地区スローガン「笑顔でSERVICE」の提唱にそうよう、予算配分をよく検討し、実のある地区活動が出来るよう微力ではありますが精一杯頑張りたいと思います。

会員の皆様には、ご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

地区補助金小委員会委員長

田儀 政司



本年度は、地区補助金プログラムに多数のクラブのご参加をいただき、ロータリー財団にクラブ提唱地区補助金プロジェクト36件を申請致しました。

引き続き、承認を受けた地区補助金プロジェクトの実施期間となります。実施に際しては、「地区でよいことをしよう」というロータリー財団の戦略計画に則り立案されたプロジェクトが、参加クラブの地域に社会貢献する様に求められるものと思います。

そして、ロータリアンの行動を主体としたプロジェクト実施による奉仕活動により、ロータリークラブの公共イメージ向上と認知の調和を、実施クラブの地域において図っていただきますようお願い申し上げます。

地区ロータリー(R)財団委員長

伊藤 文利



R財団の役目・目的はとても簡単です。「世界で良い事をしよう、地域で良い事をしよう」を合言葉に我が財団は地球上からポリオ撲滅を願う世界的奉仕活動を継続し、今や最終段階に入る。一方、地区とクラブ会員は汗をかきながら地域の発展に寄与するため財団地区補助金をフル活用して奉仕活動を毎年実施している。これらを実現するには我々が「奉仕の為に金を出して貯める、そして奉仕の為にそのお金を効果的に使う」を順守する事であります。その奉仕活動により、Rの公共イメージやブランド名が高められ、地域住民から信頼され、結果的にその実績・信頼度が会員増強やクラブ強化に繋がります。今年度、皆様のご協力・ご理解を大いに期待しています。

地区米山記念奨学会委員会委員長

齋藤 寛治



米山記念奨学会は、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。今年度の奨学生採用数は716名、その内第2690地区は20名です。寄付金額の多い地区により多くの奨学生の採用枠が割り当てられます。今年度の地区目標は普通寄付 一人5,000円、特別寄付 一人10,000円、米山功労者 (10万円) 200名以上です。寄付金の増進をお願い致します。8月31日(日) 岡山全日空ホテルで、米山奨学事業への一層の理解を深めていただく為に「クラブ米山記念奨学委員長研修会」並びに「米山奨学生・学友親睦会」を開催いたします。関係されます皆様には、ご出席の程宜しくお願い致します。

地区財団学友小委員会委員長

河田 邦美



ロータリー財団の使命である世界理解と平和を促進するため将来を担う人材を育てることを目的とする奨学生プログラムがあります。財団の「未来の夢計画」の奨学金制度にはグローバル補助金奨学生と地区補助金奨学生があり、幅広い留学機会を提供しています。

近年は、日本から世界各地への留学生数が減少傾向といわれていますが、地区内各クラブの積極のご支援により、ロータリー財団奨学生への推薦・申請が増加することを願っています。

2015-16年度の財団奨学生の募集予定は申請締切り2015年2月、選考・決定は3月です。

皆様のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

地区ポリオプラス小委員会委員長

田原 裕司



松本ガバナーは、「関係機関との連携でポリオの絶滅計画に大きく関与しているロータリーのポリオに関する活動も最終ステージに入ってきています。ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史的に1ページを刻みましよう」と地区内ロータリアンにメッセージを発信されています。

達成するためには、年次基金への寄付150米ドル/人、ポール・ハリスフェロー300人、ポール・ハリス・ソサエティへの入会推進30人、大口寄付の推進(10000米ドル) 5から10人。End Polio Nowへの参加で、地域で広報・募金活動を実施する事とソーシャルメディアへの投稿を実行して下さい。

ロータリービジネスカードを作ってポリオ撲滅ましよう。

地区ロータリー青少年指導者
育成プログラム (RYLA) 委員長

松本 浩二



明日の社会を担う青少年が、将来地域のリーダーとして、活躍していただくためのプログラムを、実施したいと思っております。

具体的な内容は、まだ検討中ですが、2015年3月～5月頃益田市での実施を予定しています。よろしくお願い申し上げます。

地区青少年交換委員長

吾郷 浩之



「小さな親善大使」。毎年、世界80カ国で8,000人を超える参加者がいる交換留学生はこう呼ばれています。学生たちは派遣先の言語を始め、歴史・文化や習慣を学ぶと共に、自国を紹介するという親善使節として海外に赴きます。そして帰国後には、国際相互理解と世界平和を推進しながらグローバルな人材として活躍が期待されています。この素晴らしいプログラムを我々ロータリアンとロータリークラブが実施していることは意外と知られていません。

一人でも多くの方に、このプログラムが一年後に自分にとって貴重な財産になったと感じて頂けるよう、常に努力を惜しまない所存です。この一年間皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

地区インターアクト委員会委員長

永島 一忠



改めてインターアクトとは、どんな目標を持っている存在なのかをここに記してみたいと思います。

それは、建設的な指導力を養成し、自己の完成を計り、他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること、家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること、個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと、個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること、すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること、地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること、国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこととあります。

以上インターアクト便覧から抜粋したものを書かせていただきました。我々ロータリアンは、この目標を知って理解したうえでインターアクターと接し共に活動しなければならないと思います。今年一年よろしくお願い申し上げます。

地区ローターアクト委員会委員長

螺山 郁繁



1966年にローターアクトクラブが創立され、すでに47年が経過いたしました。今年度、地区内ローターアクトは8クラブ80数名でスタートとなりましたが、年々会員数は減少傾向にあります。とは言え、現役のアクターはとても元気で前向きです。

本年、小林地区代表は『インフィニティ(無限)』というターゲットを掲げ、限られた会員の力を結集して、無限の力を発揮しようと努力されています。どうか、この若い力に提唱クラブ以外の皆様方からもご支援ご指導を賜りますようお願い致します。

地区職業奉仕委員会委員長

森口 裕行



ロータリーは時代とともに変化しなければならない(ポール・ハリスの言葉)、私たち江津ロータリークラブは創立50周年を迎え、まさに温故知新、新たなスタートをしようとしております。しかしロータリーの変えてはならないことは職業奉仕であります。4人の専門職業人が最初の会合を行った時からロータリーの根幹をなしているからです。

地域社会の問題に取り組む為、職業専門分野に基いた指導力と専門性を生かし多様な観点を持ち、そして必要な情熱と精神を持った職業人の集まりであり、私もその一人になるべく自分の仕事に誇りを持ち倫理観を高めロータリアンとして小さな輝きを持ち続けたいと思っています。

地区社会奉仕委員会委員長

寺下 衛



私達の住む地域社会をより住みやすいものにするべく各クラブの社会奉仕プロジェクトを計画され実施されていることと思います。新地区補助金制度が導入されて以来、事業の展開もより充実した内容になってきているものと感じています。それぞれのクラブで企画されたプロジェクトの趣旨を会員一人一人の皆様が十分に理解して頂き、実践することにより地域社会にロータリーが価値ある存在として認識を新たにされることと考えます。

地域社会の中でロータリーが好ましい存在として捉えられれば、ロータリーの会員基盤も充実し、発展していただくだけでなく、奉仕活動を行う組織としてのロータリーの力を高めることにもなると思います。

地区国際奉仕委員会委員長

齊藤 寛



第2690地区における国際奉仕委員会の役割はGSE(Group Study Exchange)プログラムが中止になった今、どのように活動すべきか前年度国際奉仕委員会友末誠夫委員長とともに苦慮致しました。国際奉仕活動は多くのクラブにおいて様々な国際交流事業を通し、国際的な奉仕活動が行われています。その活動はロータリーの友誌やガバナー月信に紹介されない限り、多くのロータリーメンバーには知り得ないところです。そうした国際奉仕の実情を、ネットを通じて地区内の各クラブの取り組みを紹介頂き、地区のHPで紹介させて頂ければと昨年度の委員会において方向性をみたところです。いよいよ実践です。

各クラブの皆様のお協力をお願い致します。

地区研修リーダーチーム長 (PDG)

葛尾 信弘



松本祐二ガバナーにエールを!!

御承知の如く去る7月1日、ロータリー新年度が発足し松本祐二ガバナーが誕生した。小林完治バスターガバナー(岡山西南RC)指名委員長と共に地元として関ってきただけに一層感慨深い。心からのエールを送り協力したい。松本ガバナーを盛り立てる益田西RCは会員30名弱の小規模クラブ昨年、同じ第5グループの大田、江津、浜田、益田RCからの強力な支援を受けグループ全体がホストクラブである。極めて良き前例を作って戴いた。この様な例は国際ロータリー全体からみれば極当り前であり、今後、志のある人はクラブの大小規模を問わず討って出て戴きたい。

ところで、松本ガバナー月信第1号組織図に見る如く、ロータリーにはバスターガバナーの協力は欠かせない。地区内外はもとより、国際ロータリー、ロータリー財団に及ぶ。

渡辺好政元RI理事、伊藤文利国際大会・協議会SAA、鳥居滋バスターガバナーの規定審議会や地区ロータリー財団委員長として、ロータリー財団セミナーなど。私自身も指名委員長、米山記念奨学会理事(現在2期目)、ロータリー文庫運営委員、研修リーダー、地区諮問委員会出席など。バスターガバナーも皆で松本ガバナーを盛り上げ、サポートしている次第です。

地区危機管理委員会委員長

第 2690 地区 第 5 グループガバナー補佐

中山 俊彦



地区危機管理委員会委員長を拝命して

国際ロータリー第2690地区危機管理委員長を拝命しました。この委員会は地区が実施する新世代育成プログラムにおいて、それに参加する全ての青少年が安全で健全な生活をおくれるよう、生活の場で起こりうる交通、自然災害、身体的、性的、精神的侵害ないし虐待等の危機に対処することを目的とするもので、私を含め13名の委員で構成され、私のクラブから4名入っておりますのは地区のガバナー補佐、ローターアクトや米山奨学会委員長並びに職業が弁護士という理由からです。危機に際しては迅速に的確に対処したいと思っておりますが、とにかくこの1年が平穏無事であって欲しいと願っております。

文庫通信 322号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

- ◎「日本のロータリアンに期待する」 ロンD. パートン 2014 5p (第 42 回ロータリー研究会報告書)
- ◎「RI 会長を終えて」 田中作次 2014 8p (第 42 回ロータリー研究会報告書)
- ◎「北米におけるロータリー研究会」 G.Kenneth Morgan 2014 3p (第 42 回ロータリー研究会報告書)
- ◎「世界のロータリー」 田中作次 2014 4p (D.2770 地区大会の記録)
- ◎「今こそ考えよう、ロータリーの心と基本- RI の最近の動きとクラブの対応」 富田英壽 2014 38p (魅力あるロータリーに)
- ◎「RLI とは」 南園義一 2012 6p (RLI 研修セミナーテキスト)
- ◎「新戦略計画の理解と実践を」 南園義一 2014 2p (D.2780 月信)
- ◎「2013 年版手続要覧『主な改定内容と解説』」 小船井修一 2014 3p (D.2500 月信)
- ◎「『職業奉仕フォーラム』実施の報告」 福田武男 2014 2p (D.2510 月信)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
 開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日 http://www.rotary-bunko.gr.jp

次期クラブロータリー財団委員長研修会 報告 (補助金管理セミナー)

※役職名は開催日現在

次期クラブロータリー財団委員長研修会 Rotary



補助金管理セミナー

- 日時：2013年12月8日 13:45～15:45
- 会場：益田市民学習センター 多目的ホール
- ①開 会
- ②役員紹介

挨拶

ガバナーエレクト 松本 祐二

2014-2015年度の財団事業は年度が始まる前に地区補助金の申請をして頂き、ロータリー財団に寄付をしたお金が自分達のクラブ活動の資金としてお金が使えるので、次年度の立派なクラブ奉仕活動として頂ける為にも、今回のセミナーで“どのようなシステムなのか”また“どのような活動をするのか”を学んで欲しい。

次期地区研修リーダー 伊藤 文利

次期松本ガバナー年度を盛り上げる為にも、また、クラブの活性化の為にも、財団委員長がカギを握っていますので、今日のセミナーをしっかりと学んでいただきたい。

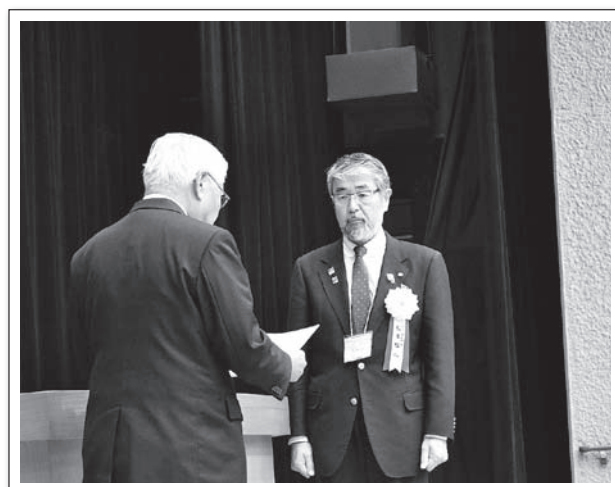
次期地区研修リーダー 山本 茂生

ガバナーを務め終えてからの、この20年間、ロータリー財

団が中心となってロータリーを活性化する時代となっておりますので、私自身も今日のセミナーで財団の勉強をさせていただきます。

ポール・ハリス・ソサエティ入会者への認証状・ピン伝達

地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター 伊藤 文利



松本祐二ガバナーエレクト (益田西RC)、高橋峯男
クラブR財団委員長 (岡山北西RC)

基調講演

次期地区研修リーダー **伊藤 文利**

先ず、財団委員長の皆様は、この研修で学んだ事を各クラブに持ち帰って、会員の皆様と是非情報の共有をして頂きたい。

この4年間における地区補助金の申請件数が、0回が7クラブ、1回が21クラブ、2回が18クラブ、3回が19クラブ、4回が7クラブと、申請件数が減少しております。申請件数が少ないからと言ってクラブが活性化していない訳ではありませんが、財団の活動は、ロータリーを動かすエネルギーとなっていますので、是非申請件数を増やして頂きたい。

4年後にロータリー財団は100周年を迎え、活発なロータリークラブを求める事が、ロータリー財団、また、RIの目的でもあります。

地域で良いことをしよう。良いプロジェクトを作り、奉仕活動を行ない、地域に認められ、そして、公共のイメージが向上して、それが会員の増強につながり、寄付にもつながる。特に寄付の推進に当たっては、目的を明示して協力をお願いするという形で取り組んで頂きたい。

全てのクラブの奉仕活動は、ロータリー財団が先導し、全ての会員がオールランドプレイヤーとして、汗水流して奉仕活動に参画して頂けるのがCLPの理想の形でもあり、また、RIの望ましい姿でありますので、クラブの活性化、ロータリーの活性化の為に、ロータリー財団委員長の皆様のご活躍を期待します。

地区補助金活動事例発表

「新地区補助金4年間連続活用した奉仕活動の実績報告」

米子ロータリークラブ **白根 一**

この研修会には何回か参加させて頂きましたが、専門的な知識、約束事(ルール)が多いので、プロジェクトに取り付きにくい点がありますが、この4年間の事例を発表させて頂き少しでもプロジェクトに参加しやすいと思って頂ける事を望みます。

(1)米子RCの取り組み

街に緑を

(2)新地区補助金による事業

- ・日野川源流一森の再生プロジェクト
- ・日南町 豊かな水資源保全活動

- ・米子市 中心市街地「ばていお広場」
緑化推進—市民と共に行う植樹
- ・日野川源流
「米子城外堀・加茂川広場」の植樹

「地区補助金プロジェクト①」

地区補助金小委員会委員長 **神崎 信輔**

別紙資料 説明 P9~18

「地区補助金プロジェクト②」

次期地区補助金小委員会委員長 **田儀 政司**

別紙資料 説明 P19~23

「地区チーム研修セミナー・地区夢計画合同セミナー [2014年2月22日]」のお知らせ

次期地区代表幹事 **須山 羚治**

閉会の挨拶

次期地区副代表幹事 **藤原 博明**

閉 会



次期クラブロータリー財団委員長研修会



地区補助金プロジェクト①

プロジェクトの適合資格&本年度実施プロジェクト

2013年12月8日 益田市民学習センター

国際ロータリー第2690地区
地区補助金小委員会委員長
津山RC 神崎 信輔

1

クラブロータリー財団委員長

- ・ロータリー財団について理解を深め、会員へ伝える
- ・財団寄付の意義を知り、寄付のお願いをする
- ・補助金を活用して、有意義なプロジェクトの実施を推進する
(補助金の申請・報告・会計の適正管理)

2

国際ロータリーのロータリー財団

世界中のロータリアンからの寄付金

2017年 R財団創立100周年に向けた改革

未来の夢計画 Future Vision Plan

2690地区など国内6地区を含む全世界100地区で2010年7月～3年間試行期間

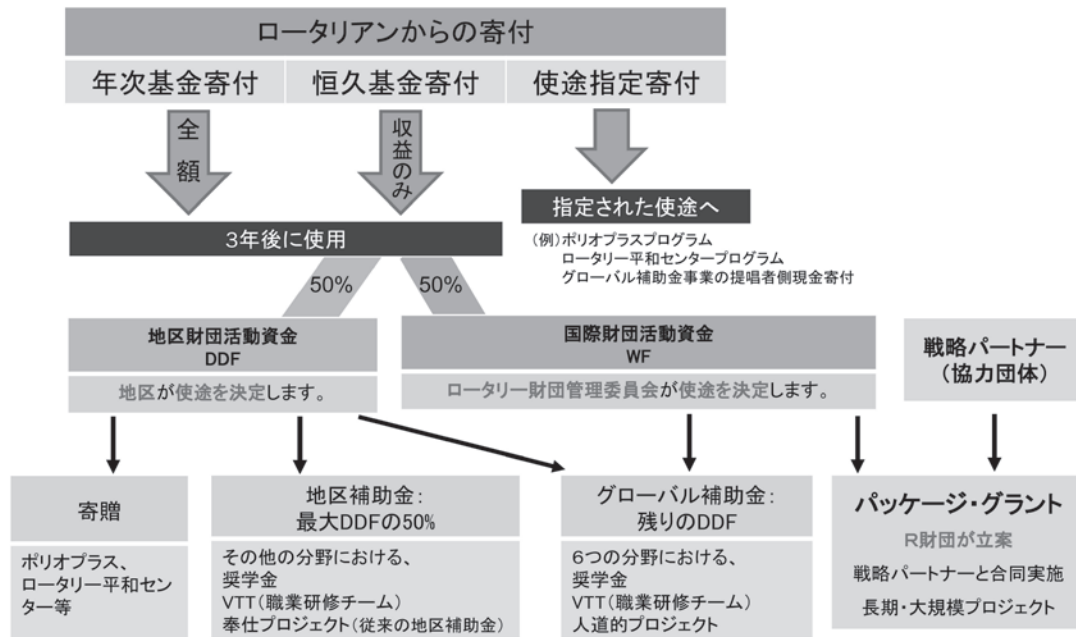
ロータリー財団の新しいプログラム

ポリオプラス・ロータリー平和センター・新しい補助金制度

シェアシステムによる財団資金の活用

3

年次基金寄付と恒久基金収益を、3年後に国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)にそれぞれ50%ずつ配分することをシェアシステムと言います。



RI第2690地区 シェア・システム DDF 配分表 (2013.1.1.09)

- スペンディングプラン申請時の予算 -

◇第2690地区のDDF額 (日本円の換算は参考数値)		2010-11年度		2011-12年度		2012-13年度		2013-14年度	
収入		小林G年度 FY/円	¥92	伊藤G年度 FY/円	¥80	森田G年度 FY/円	¥80	森本G年度 FY/円	¥100
3年前の年次寄付実績額の50%		253,531.71	23,324,917	251,279.95	20,102,396	250,876.46	20,070,117	240,444.28	24,044,428
恒久基金収益の50%		28,016.72	2,577,538	12,165.96	973,277	10,612.72	849,018	16,276.45	1,627,645
年度分	【合計】 ①	281,548.43	25,902,456	263,445.91	21,075,673	261,489.18	20,919,134	256,720.73	25,672,073
前年度のDDF残額		108,485.89	9,980,702	116,132.64	9,290,611	68,762.55	5,501,004	119,741.66	11,974,166
繰越分 (DDFへの返金、移行、各寄附等により、プラス、マイナス計算で算出された額 (補助金集積返金など)		20,005.32	1,840,489	0.00	0	14,927.93	1,194,234	1,939.45	193,945
	【合計】 ②	128,491.21	11,821,191	116,132.64	9,290,611	83,690.48	6,695,238	121,681.11	12,168,111
	DDF合計額 (①+②)	410,039.64	37,723,647	379,578.55	30,366,284	345,179.66	27,614,373	378,401.84	37,840,184
	支出	2010-11年度		2011-12年度		2012-13年度		2013-14年度	
(新)地区補助金		17,000.00	1,564,000	26,000.00	2,080,000	26,000.00	2,080,000	26,000.00	2,600,000
・奨学生 1		12,000.00	1,104,000	23,000.00	1,840,000	1,840,000	1,840,000	24,000.00	2,400,000
・奨学生 2		85,507.00	7,866,644	89,398.00	7,151,840	73,367.00	5,869,360	54,070.00	5,407,000
・クラブ提唱 奉仕プロジェクト		19,000.00	1,748,000	7,241.00	579,280	1,871.00	149,680	18,458.00	1,845,800
・地区提唱 奉仕プロジェクト(緊急災害支援用)		4,000.00	36,800	3,000.00	240,000	1,200.00	96,000	3,000.00	300,000
・補助金の実施に必要なとされる管理運営費(銀行手数料、郵便切手)	【合計】 ④	133,907.00	12,319,444	125,639.00	10,051,120	125,438.00	10,035,040	125,528.00	12,552,800
新地区補助金申請 限度額 (①×1/2)		140,774.22	12,951,228	131,722.96	10,537,836	130,744.59	10,459,567	128,360.37	12,836,037
グローバル補助金		20,000.00	1,840,000						
・ケニア水プロジェクト(GG #25043)		20,000.00	1,840,000						
DDF寄贈		90,000.00	8,280,000	50,000.00	4,000,000	50,000.00	4,000,000	4,000.00	400,000
・ポリオ・プラスへの寄贈		50,000.00	4,600,000	50,000.00	4,000,000	50,000.00	4,000,000	4,000.00	400,000
・世界平和フェローシップへの寄贈		40,000.00	3,680,000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・東日本震災復興基金(地区提唱プロジェクト)への寄贈		40,000.00	3,680,000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・東日本震災復興基金(日本委員会)への寄贈	【合計】 ⑤	160,000.00	14,720,000	185,177.00	14,907,222	100,000.00	8,000,000	0.00	0.00
グローバル補助金/DDF寄贈 配分可能額 (③-④)		276,132.64	25,404,203	253,939.55	20,315,164	219,741.66	17,579,333	252,873.84	25,287,384
DDF支出合計額 (④+⑤)	⑥	293,907.00	27,039,444	310,816.00	24,958,342	225,438.00	18,035,040	125,528.00	12,552,800
単年度 DDF 残額 (①-⑥)		-12,358.57	-1,136,988	-47,370.09	-3,882,669	36,051.18	2,884,094	131,192.73	13,119,273
年度末 DDF 残額 (③-⑥)		116,132.64	10,684,203	68,762.55	5,407,942	119,741.66	9,579,333	252,873.84	25,287,384

☆ トル82円
★ トル78円
※ 恒久基金の収益は、地区補助金申請限度額から逆算した数字

ポリオプラスとロータリー平和センター

5

ポリオプラス・プログラム 世界ポリオ撲滅推進計画

国際ロータリーの最重点課題

ポリオ+5つの病気の同時追放
はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風

ロータリー平和センター・プログラム

世界の7大学(日本:国際基督教大学)にロータリー平和センターを設置
地区から推薦され選考された奨学生=フェロー
紛争の解決と平和における国際問題研究

国連事務官、外交官などで活躍、国際社会に大きな影響力を与える

寄付金の種類

6

・年次基金寄付: 寄付した3年後に全額使用

【認証ポイントの対象】 今の奉仕活動のために(R財団と地区が半分ずつ使う)
全世界で実施されるR財団の補助金プロジェクトや活動を支援。ポールハリスフェロー認証の対象

・恒久基金寄付: 積み立てて、投資収益のみ使用

奉仕活動を未来永劫続けるため
R財団の財政基盤を築く。将来の新プログラムや拡張を可能に。ベネファクター認証の対象

・使途指定寄付: ポリオプラス、ロータリー平和センターなど

【認証ポイントの対象】 寄付金の使用目的を指定できる
ポリオ撲滅活動や財団補助金プロジェクトを支援。ポールハリスフェロー認証の対象

公益財団法人ロータリー日本財団

「特定公益増進法人」への寄付金として、所得控除など税制上の優遇措置がある

R財団「毎年あなたも100ドルを」運動 2690地区目標1人当たり140ドル

認証

7

寄付者に対する称号(感謝のしるし)

- ・アーチ・クランフ・ソサエティ: 累計\$25万以上
- ・大口寄付者(メジャードナー): 累計\$10,000以上
- ・ポールハリスフェロー: 累計\$1,000以上の寄付
年次基金寄付・使途指定寄付
- ・マルチプル・ポールハリスフェロー: \$1,000毎に 8段階
- ・ポールハリスソサエティ: 毎年\$1,000以上
- ・ベネファクター: 恒久基金に\$1,000以上

RI表彰・地区表彰

- ・RI会長賞
- ・ロータリー財団寄付地区目標達成クラブ
- ・ベネファクター1名以上達成クラブ
- ・100%ポール・ハリス・フェロークラブ
- ・ロータリーカード取得率

財団認証ポイント

8

年次基金寄付または使途指定寄付をすると、
その額がポイントとなる

1ドル=1ポイント

他の人にポイントを譲ることができる

現金寄付額+ポイント=1,000ドル=ポール・ハリス・フェロー

会員からの寄付に対し、これと同額の認証ポイントをクラブがこの会員に移譲(マッチング)することで、年次プログラム基金への寄付を奨励できます。これにより、クラブの年次寄付目標を達成したり、100%ポール・ハリス・フェロークラブを実現する可能性も高まる。

ロータリーカード



ロータリーカードは毎日のお買い物や公共料金の支払いで、財団活動に貢献できるカードです。

- ・カードショッピング利用金額の0.3%を財団に寄付(ポリオ プログラム)
 - ・ロータリーゴールドカードの年会費のうち、3,000円が財団に寄付
 - ・貯まったポイントで財団への寄付ができる(年次基金寄付として本人の実績)
- ¥1,000=1ポイント 1,000ポイント貯まるごとに¥5,000寄付

保持率100%目標

「未来の夢計画」2013年7月より全世界で一斉スタート 10

地区補助金

「地区・クラブ実施のプロジェクト」
「奨学金」「職業研修(VTT)」

地区補助金活用プロジェクトについて

財団ルール「授与と受諾の条件」・地区申合せ事項

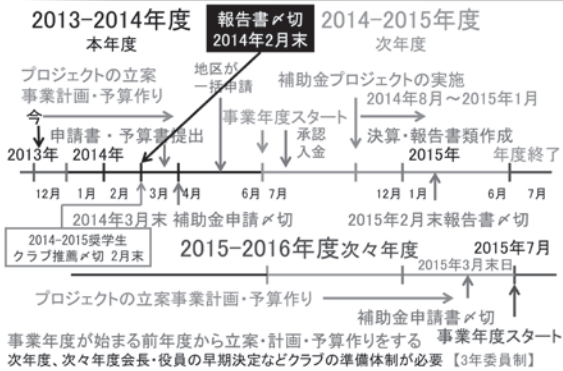
- ・ロータリーが主体となっていること(ロータリーが主催者)
- ・ロータリアンが積極的に関与すること(汗を流す)
- ・すでに完了または、進行中のプロジェクトは不可
- ・飲食費・賞品・記念品・高額な広報宣伝費などは不可
- ・ロータリー・マークを適切に使用する

R I 第2690地区 2013-14年度 各クラブ提唱 地区補助金プロジェクト一覧

No.	クラブ名	申請額(円)	予算額(円)	プロジェクト名
1	岡山東	500,000	1,518,468	東北大地震復興に学び南海トラフ地震に備える次世代ボランティアリーダー育成事業
2	鳥取	167,580	335,580	間伐材を活用した教育プロジェクト(小学生とのベンチ製作)
3	倉敷南	196,500	408,170	就学前児童を対象としたスポーツ教室
4	岡山西南	140,000	301,290	盲導犬の啓蒙活動プロジェクト 盲導犬って知ってる? — 岡山のちびっこ集まれ— 備前国総社宮復興のための「もみじの杜」事業 — 地域住民とともに行う植樹 —
5	岡山北	181,125	381,360	地元の公園に、憩いと世代交流の為の温かみのあるベンチを設置するプロジェクト
6	倉敷水島	165,000	350,750	クラッツァ音楽出前コンサートの開催
7	津山	300,000	680,000	海岸松林再生事業 — 抵抗性マツ植栽 —
8	益田	110,040	237,479	鳥取市へ砂丘用車椅子2台の寄贈とそれらの操作支援
9	出雲中央	100,000	207,000	恵みの水に感謝し、家族の絆を深めよう — 総社市在住の子を持つ家族40〜60名程度を対象とした水保全に関する見学・体験学習及び家族共同での調理体験の実施 —
10	鳥取北	200,000	403,850	竹林伐採環境プロジェクト
11	総社	289,457	587,145	米子市立図書館への選定図書・収集図書および時計の寄贈
12	玉野	128,800	258,605	北澤 豪 少年サッカー教室
13	米子東	300,000	621,090	「萬葉植物の丘」の整備(森林環境の整備)と生徒・児童との交流事業
14	浜田	339,250	764,250	児童養護施設聖園天使園の児童と行うスポーツ公園(YAJINスタジアム)への記念植樹と交流事業
15	倉吉	100,000	210,000	出雲の伝統を知らうプロジェクト
16	米子中央	114,450	230,424	日野川下流「米子城外堀、加茂川広場」の植樹
17	出雲南	220,500	457,330	グリーントピルズ津山 環境保全並びに新世代育成事業
18	米子	160,000	333,060	次世代農業を通じての新世代リーダー育成プロジェクト
19	津山中央	230,000	475,000	地元小学生を対象とした北緯35度にあつわる平和学習プロジェクト
20	井原	235,000	493,400	岡山・福島 青少年交流育成プロジェクト — 岡山と福島の子供たち120名程度を対象にしたサッカー大会及び交流事業の実施 —
21	新見	100,000	200,100	留学生と小学生との異文化体験プロジェクト
22	岡山北西	500,000	1,206,852	地元小学校4年生153名を対象とした「環境学習と清掃奉仕活動」と環境保全用品の寄贈
23	真庭	132,000	268,879	ふるさとが誇る日本一の清流高津川を学ぶ ふるさと探検隊
24	倉敷東	184,500	369,541	「わんぱくサッカー大会」を通じて園児たちを応援するプロジェクト
25	益田西	138,000	277,350	
26	美作	174,495	353,743	

新地区補助金(地区補助金)
プロジェクトの実施スケジュール

12



地区R財団事務所 ホームページ
<http://www.zaidan-rid2690.jp/>

13

《2690地区財団》で検索
ダウンロード機能

地区R財団事務所のホームページから、下記の情報を取り込めます。
「メンバー専用ページ」へ、下記ユーザー名とパスワードでログインしてください。
ユーザー名: member パスワード: member2690

- 財団室NEWS
- 2013-14年度 新地区補助金報告書式
- 2013-14年度 新地区補助金報告書式<記載説明書>
- 2013-14年度 新地区補助金申請書式
- 2013-14年度 新地区補助金申請書式<記載説明書>
- RI第2690地区ロータリー財団運営委員会規定
- RI第2690地区ロータリー財団補助金小委員会運営細則
- RI第2690地区ロータリー財団監査委員会運営要項
- 「地区申合せルール」など新地区補助金関係資
- 2013-14年度 新地区補助金プロジェクト一覧

今回使用しましたパワーポイント資料も閲覧できます

2690地区ホームページ

《2690地区で検索》
<http://www.rid2690.jp/>

14



RI第2690地区ロータリー財団事務所HP ダウンロード機能の使い方
① <http://www.zaidan-rid2690.jp/> にアクセスし、ユーザー名とパスワードを入力してください。

15



② 画面左側の「ダウンロード」ボタンをクリックし、ファイルの一覧を表示してください。 16



③ ファイル名をクリックすると確認メッセージが表示され、対象ファイルの表示/保存ができます。 17



書式① 地区補助金報告書 提出届 ならびに チェック表

① 地区補助金報告書 提出届 ならびに チェック表

第2013-14年度 地区補助金報告書

「付添書類 地区補助金報告書」の添付品として、「報告書の交付に関する申請書」を提出し、報告書の提出、交付申請書の提出が完了して完了となります。提出が完了した場合は、提出された報告書が「報告書提出済」の状態となります。

報告書の提出が完了した後は、申請書の提出状況を確認するために「報告書提出済」の報告書の一覧を確認してください。

報告書提出済	報告書提出済	報告書提出済

No.	報告書提出済	報告書提出済	報告書提出済
1	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
2	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
3	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
4	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
5	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
6	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
7	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
8	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
9	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
10	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
11	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
12	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
13	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
14	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
15	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
16	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
17	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
18	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
19	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
20	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
21	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
22	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
23	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
24	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
25	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
26	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
27	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
28	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
29	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
30	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
31	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
32	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
33	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
34	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
35	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
36	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
37	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
38	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
39	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
40	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
41	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
42	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
43	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
44	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
45	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
46	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
47	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
48	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
49	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
50	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
51	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
52	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
53	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
54	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
55	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
56	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
57	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
58	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
59	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
60	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
61	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
62	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
63	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
64	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
65	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
66	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
67	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
68	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
69	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
70	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
71	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
72	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
73	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
74	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
75	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
76	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
77	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
78	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
79	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
80	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
81	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
82	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
83	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
84	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
85	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
86	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
87	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
88	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
89	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
90	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
91	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
92	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
93	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
94	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
95	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
96	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
97	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
98	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
99	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書
100	地区補助金報告書	地区補助金報告書	地区補助金報告書

書式② 地区補助金報告書 提出届 ならびに チェック表

②【別紙】地区補助金報告書 A-4フタツファイルへの表記法

地区補助金報告書は、指定された順に市販のA-4フタツファイル（封筒、色：グリーン）に入れて提出してください。なお、A-4フタツファイルの扉面に記載の記載方法は、以下のものを参考にしてください。「補助金申請 No.」を、各クラブ前に変更して印刷後、切り取って指定のA-4フタツファイルに、とれないよう貼り付けてください。

■ A-4フタツファイル（色：グリーン）への記入例（表紙）



2013-14年度 第2690地区 地区補助金報告書
〇〇ロータリークラブ（補助金申請 No. 〇）
【書類保管期間：2021年6月末まで】

■ A-4フタツファイル（色：グリーン）への記入例（側面）

2013-14年度 地区補助金報告書 〇〇ロータリークラブ（補助金申請 No. 〇） 【書類保管期間：2021年6月末まで】

申請No.



プロジェクトNoを記載してください

事前チェックに従って修正していただき、署名した原本を、最終報告書として提出願います。

20

⑧ ロータリー財団 新地区補助金報告書

□ 中間(進捗)報告書 □ 最終報告書

所要事項を記入され、もしも必要ならば別紙をご使用ください。(□の箇所は該当箇所を「■」に塗りつぶしてください。)

申請書と同じ記述にしてください。

2-5) 広報活動結果 ※ 広報活動の結果はどのようにして行ったか……? (そのようにメディアに、どのように取り上げられたか……?) ※ 新聞記事内容等は紙面を切り取り、別紙に参考資料として新聞名、掲載日とともに添付してください。

【写真資料 No.】:

○ ○ 新聞 2013年○月○日朝刊○○版 「○○○○」

【参考資料】: 参考資料として、掲載された新聞記事等を添付してください。可能であれば、ちらし、プログラム、案内なども添付してください。

2-6) プロジェクト実施後の効果

※ プロジェクトは、どのように地元のために、その地域社会に恩恵を与え、お礼を言わなければならない人々の生活の向上に役立ちましたか……? 西暦で記載してください。受益者に対する効果については、2-3)ではなく、こちらに記載してください。

【写真資料 No.】:

3. プロジェクト間合せ担当者 :

連絡担当者名 _____ クラブでの役職 2012-13年度
 電話 _____ FAX _____ 電子メール _____
 連絡担当者名 _____ クラブでの役職 2012-13年度
 電話 _____ FAX _____ 電子メール _____

プロジェクトの資金管理、決算 :

支出項目に関するすべての領収書・支払証明書類は別紙に添付してください。

■ 新地区補助金決算額 (D) 円 (プロジェクト決算額 (F) 円)

内訳は別紙 【地区指定様式1】「資金引出し承認書」第1、【地区指定様式2】「補助金での購入品管理表」、
 【地区指定様式3】「財務報告書」、【地区指定様式4】「銀行月末残高確認表」の通り

5. 関係書類の保管管理: ○すべての関連書類を1年間保管するため、クラブが規定施設保管場所を記載してください。
 名称 _____ 住所 _____
 2012年6月末日まで保管

6. 承認と同意 本報告書に署名することにより、あらかじめクラブに地区とて締結したクラブの規程(MOU)第2690地区 新地区補助金「ならびに」地区単身者として承認された項目のみ新地区補助金の資金が使用されたと共に、ここに記されたすべての情報が必要であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書は、地区に提出しました。また、本報告書に関連して提出した写真はすべて、地区の所有権であり、返送されないことも理解するとともに、著作権をこの写真のすべての権利を地区が所有することを認め、同じ場所を問わず、いかなる方法、また現在知られていない媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能許可を地区に与えます。これには、必要であれば、地区の独自の複製により写しに修正を加える権利が含まれます。また、地区が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他、地区、円およびロータリー財団に提供されます。

事前チェックの段階では、署名は不要です。

【クラブ名】 _____ 氏名(ロータリー) _____ 署名 _____
 _____ 氏名(ロータリー) _____ 署名 _____
 _____ 氏名(ロータリー) _____ 署名 _____
 _____ 氏名(ロータリー) _____ 署名 _____

1. プロジェクトの概要

クラブ名	_____	
プロジェクト名	_____	
プロジェクトの区分	<input type="checkbox"/> 単独クラブ提唱プロジェクト	<input type="checkbox"/> 複数クラブでの提唱プロジェクト
提唱クラブ名	_____	
プロジェクト対象	<input type="checkbox"/> 教育的	<input type="checkbox"/> 人道的
実施場所	<input type="checkbox"/> 環境保全	<input type="checkbox"/> 青少年育成指導
実施時期	開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	終了日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
協力団体の名称	_____	
受益者	_____	
広報活動結果	メディアでの報道数 件 (新聞 件、TV 件、その他 件)	_____
新地区補助金	(D) 決算額 円	(a) 入金額 円
プロジェクト支出総額	(F) 決算額 円	予算額 円 (申請書記載額)
新地区補助金 残高	(G) 円 ((a)-(D)+相違(b))	地区への返金日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

2. プロジェクトの実施結果

2-1) プロジェクトの実施結果 財務報告書の金額を合わせてください。できるだけこちらの書式にご記入いただき、スペースが足りない場合には別紙をご使用ください。

2-2) プロジェクトの実施内容 プロジェクトの実施内容を、より明確にするために、「申請書記載の主旨」も添記してください。

【写真資料 No.】: ○○、○○、○○
 写真は、書式ごとではなく、全てを順番で添付してください。
 複数の書式で同じ写真を使っていたとしても構いません。

2-2) ロータリアンの参加状況 ※ プロジェクトを実施するうえでロータリアン以外の者を雇いましたか……? (そのことを、何名のロータリアンが行ったか) ※ プロジェクトを実施するうえでロータリアン以外の者を雇いましたか……? (そのことを、何名のロータリアンが行ったか) ※ 全員の積極的な関与がわかるように。

【写真資料 No.】: _____
 「ロータリアンが汗をかいている」写真を添付してください。
 本文に「ロータリアンの汗をかき方」を記載してください。

2-3) 受益者の詳細 ※ プロジェクト実施により、どのような方が各程度恩恵を受けましたか……? ※ 受益者関係の中でロータリー関係者がおられる。参考として記載してください。(例) プロジェクト対象○○地区○○地区○○地区○○地区

ロータリアンは受益者にならないことにご注意ください。

【写真資料 No.】:

報告書類作成のサポートについて

21

- R財団と地区ルールに照らし、プロジェクト報告書類をチェック
修正点を助言、適正な書類を作成し、監査に備える
- ・申請書と予算書どおりに実施されているか
 - ・認められない支出項目の排除
 - ・補助金とクラブ負担金の支出項目の振り分け方

チェックするポイント

- ・プロジェクトを計画どおりに実施し、予算書どおりに支出しているか
- ・費用の支払いが承認日以降か(領収書の日付が承認日以降であること)
- ・ロータリーが主催者であるか(共催や名目だけの事業は不可)
- ・ロータリアンの積極的な関与があったか(如何に汗を流したか)
- ・単なる寄付行為や、親睦会、観光ツアーになっていないか
- ・補助金で購入した物品の管理者がだれか(クラブが管理者になれない)
- ・飲食費は不可(実施に必要な、バーベキューの食材、料理教室の材料費はOK)
- ・参加賞、記念品、参加者へのお礼状などプレゼント類は不可
- ・高額なチラシ作成費や広報費などは不可
- ・ロータリアンや関係者が、受益者やプロジェクトの対象となっていないか
- ・ロータリアンの入場料やロータリアンが行う、会議費、事前調査費が含まれていないか
- ・実施に必要な事前準備費(整地、下草刈りなど)はOK

ルールに違反 = 補助金の返金 = クラブ負担

新地区補助金小委員会、地区R財団委員長、国際ロータリー日本事務局財団室

関係書類は7年間保管

22

新地区補助金プロジェクトに関するすべての書類

- ・原本:地区ロータリー財団事務所
- ・写し:クラブで保管

保管期間7年間 ⇒

7年後までロータリー財団の監査の可能性

- クラブ役員、担当者、受益者の記憶 ⇒ 希薄化
- 監査委員が納得する、きちんとした説明の必要性
- 監査結果 ⇒ 不適合 ⇒ 補助金の返金
- 1プロジェクトの不備 ⇒ 他のプロジェクトの再監査
- 自己防衛のため、みんなのために

2013-14年度 第2690地区
地区補助金小委員会メンバー

23

- 委員長 神崎 信輔 津山RC
次期委員長 田儀 政司 益田西RC
2010-11委員長 三村 元博 岡山西南RC
2011-12委員長 小林 健治 倉吉RC
2012-13委員長 中村 公彦 倉敷RC
地区ロータリー財団事務所 笠原 由紀子

申請書・報告書の事前チェックは

Eメールで

office@zaidan-rid2690.jp

地区ロータリー財団事務所

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL (086) 221-2690 FAX (086) 224-4288

ロータリーの
公共イメージ向上につながる
良いプロジェクトを実施してください。
それが、会員増強へとつながります。



24



国際ロータリー第2690地区 2013-14年度 次期クラブロータリー財団委員長研修会

地区補助金プロジェクト

参加資格・立案・申請・タイムスケジュール

2013年12月8日 益田市立市民学習センター

次期地区補助金小委員会委員長
益田西ロータリークラブ 田儀政司

新しいロータリー財団

財団プログラムの変更（2013年7月より実施）

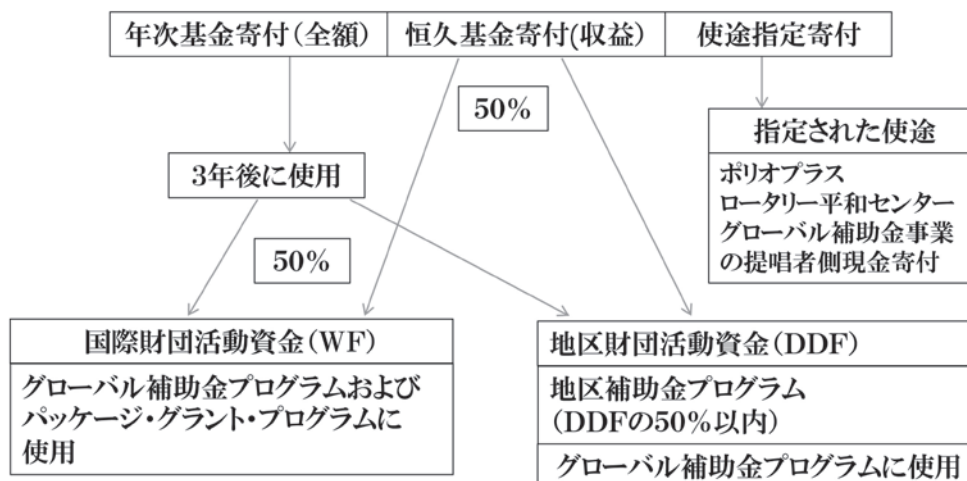
1. 財団のプログラムと運営を簡素化する
2. ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞る
3. 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供
4. 意思決定権をさらに地区に移行することにより地区レベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高める
5. ロータリー財団の活動に対する理解を深めロータリーの公共イメージを高める事

変更後のプログラムによるロータリー財団の補助金構成

- 地区補助金
- グローバル補助金
- パッケージ・グラント

シェアシステムによる財団寄付金の活用

ロータリアンからの寄付



クラブの地区補助金プロジェクト 資格認定

1. 覚書(MOU)を地区と締結

地区とクラブ間の地区補助金に関する同意書

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1) クラブの参加資格 | 2) クラブ役員の責務 |
| 3) 財務管理 | 4) 銀行口座に関する要件 |
| 5) 補助金の使用に関する報告 | 6) 書類の保管 |
| 7) 補助金の不正使用に関する報告 | |

承認と同意

2. 「地区補助金に関する地区申し合わせルールとプロジェクトの適合資格」への同意

1) ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件 の遵守
(2013年7月1日以降の補助金に適用)

2) 地区申し合わせルールの遵守

3) 補助金参加者の利害に関する方針 (ロータリー財団章典 第7.030.項)の遵守

クラブの覚書(MOU)

1. クラブの参加資格

- 1) 資金の管理を誰が行ったとしても、クラブが提唱した補助金資金の使用に対しては、クラブが責任を負う。
- 2) クラブは、いかなる財務監査、補助金監査、業務監査にも協力しなければならない。

2. クラブ役員の責務

クラブ会長エレクト、またはクラブが任命した代表者は補助金管理と参加資格に関する地区主催の研修会に出席しなければならない。

※研修会(補助金管理セミナー)

- 次期クラブR財団委員長研修セミナー
- 地区夢計画合同セミナー
- PETS
- 地区研修・協議会

※補助金管理

プロジェクトの立案、地区補助金申請、資金の取扱い、成果の評価・報告

3. 書類の保管

書類は、少なくとも7年間保管しなければならない。

原本 →地区ロータリー財団事務所で保管

写本 →クラブで保管

地区補助金に関する地区申合わせルールと プロジェクトの適合資格

1. 地区補助金は、「地区でよいことをしよう」の精神に則り、地区内実施プロジェクトとする。
 2. ロータリアンが積極的に参加すること。(会員が汗を流すこと)
 3. 1プロジェクトの補助金の下限は10万円、上限は50万円とする。
クラブの自己資金は補助金と同額、またはそれ以上とする。
(プロジェクト総額は、20万円以上)
 4. 地区への申請・報告書に関して、署名入りの正式な書類を作成する前に、事前チェックのため電子メールで署名以外の必要事項を記載したものを「案」として地区ロータリー財団事務所へ提出しなければならない。
- ※「授与と受諾の条件」の制約事項により、補助金使用が認められない目的(一部抜粋)
1. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。
 2. ロータリー以外の団体が主体となって実施する活動。
 3. 既に進行中または完了した活動と経費。

地区補助金プロジェクトの立案・申請

1. プロジェクトの立案

- 1) プロジェクト適合資格チェックリストによる確認作業
- 2) 実施時期は、7月下旬以降～翌年1月末の間で計画
R財団の地区補助金の審査・承認及びプロジェクト資金の送金

2. プロジェクトの申請

- 1) プロジェクトの対象
教育的、人道的、環境保全、青少年育成指導
その他を選択される場合は、事前に地区R財団事務所に報告
- 2) プロジェクトの受益者
ロータリー関係者が含まれる場合は、「利害の対立の報告」が必要
- 3) 資金面以外のロータリアンの参加状況
具体的なプロジェクトへの参加方法を記載（会員が汗を流すこと）

プロジェクト予算書（2014—15年度）

／「ロータリー財団 地区補助金申請書」添付書類

予算書作成時の留意事項

1. 補助金項目は、簡潔に記載。
2. 原則として、補助金からのプロジェクト実施時支出は、予算計上された項目に限定。
3. 予算計上の根拠となる見積書を添付。
4. 相見積を行った場合は、結果を報告。
5. 利害の対立がある場合は、公平な取引である事を報告。

地区補助金プロジェクト申請のタイムスケジュール

2013年	8月上旬～	●各クラブ援唱プロジェクトの実施	2013年	9月1日(日)	●地区ロータリー財団セミナー【津山】 (計画年度への準備・参画要請・研修)
	9月1日(日)	●地区ロータリー財団セミナー【津山】 (実施年度のフォロー)		12月8日(日)	●次期クラブ財団委員長研修会【益田】 (補助金管理セミナー)
2014年	2月28日(金)	●プロジェクト実施報告書の地区提出締切 ※正式書類の提出期限(注1)参照)	2014年	2月22日(土)	●地区チーム研修・夢計画合同セミナー【益田】 (補助金管理セミナー)
	～5月中旬	報告書のチェック・修正サポート		3月15～16日(土・日)	●PETS【益田】 (補助金管理セミナー・地区補助金申請への準備要請)
	5月下旬	R財団へ報告書を提出		3月31日(月)	●次年度賞書・申請書の地区提出締切
	～7月初旬	プロジェクト クローズ		4月13日(日)	●地区研修・協議会【益田】 (補助金管理セミナー・地区補助金申請書の中間チェック報告)
				～5月中旬	申請書のチェック・修正サポート
				5月下旬	R財団に地区補助金(スポンディングプラン)を一括申請
				6月初旬 ～7月初旬	R財団によるスポンディングプランの審査 (必要な場合は地区で修正)
		7月初旬 ～8月中旬	R財団より地区に松本年度プロジェクト資金送金		
		7月下旬 ～8月中旬以降	●地区より各クラブへ補助金送金		
		7月下旬～	●プロジェクト実施(注2)参照)		
			2015年	2月28日(土)	●プロジェクト実施報告書の地区提出締切 ※正式書類の提出期限(注1)参照)

※ ●印の項目は、各クラブ担当の業務・研修会等の内容です。

注1) プロジェクト終了後1ヶ月以内に報告書をメールにてご提出下さい。地区補助金委員会でチェックした後、ご連絡いたします。その後正式に、必要箇所にご署名を頂いた報告書、その他全ての書類の含まれた原本ファイルを地区R財団事務係宛にご郵送下さい。

注2) 次年度の各クラブ援唱プロジェクト開始可能時期に関しては、財団からのスポンディングプランの承認状況を踏まえ、地区より各クラブに改めてご連絡いたします。現時点では「7月上旬～」を予定しています。



「地区でよいことをしよう」

地区補助金プロジェクト実施を通じ
ロータリーの公共イメージを高めましょう。



AIR MAIL

一年後の自分へ

グローバルな人材が必要とされる現代社会において、

 留学経験や海外の生活・文化に触れることは

 貴重な財産となります。

 一年後の自分を想像してください。

 そこにはきっと、今とは違う自分があるはずです。



2015-2016年度 派遣交換学生募集

2015-2016年度の地区交換派遣学生について、募集を開始しますので、希望者を貴クラブにおいて十分ご検討のうえ、お申し込みください。

【基本事項】

交換地域／アメリカ合衆国、またはその他諸外国 交換の期間／2015年8月より1年間 人数／3名
 資格／クラブ会員子女またはクラブ会員が責任を持ち得る家庭の子女を対象とし、海外到着（派遣）時、2015年8月末に15歳から18歳以下の学生で、高校1年生程度以上の学力を有すること。派遣、受け入れともクラブが責任を持つものであること。原則として派遣のクラブにおいて受け入れ、引き受けの義務がある。当委員会の規約に基づかないクラブ独自の交換については地区は関知しない。派遣学生については、各クラブにおいて十分な人物選考を行ったうえ、地区委員会に推薦し、地区委員会はその中からテストを行って合格者を決定する。派遣学生の相手地区への往復の旅費の補助は1人当たり30万円である。相手地区における通学及び生活費は先方が負担する。

【申し込み期限】

各クラブから当委員会への申し込みは、2014年9月30日（火）必着とする。

【選考日】

2014年11月を予定。詳細は後日通知する。
 選考テスト：英語（英会話と筆記）・国語（日本語による作文）・面接

【申し込み方法】

青少年交換派遣学生願書に必要事項を記入して応募すること。
 ※願書は地区ホームページからダウンロードしてください。

詳細はホームページを確認のこと

<http://www.rotary.org/ja/> [トップページ] → [学生と青少年] → [青少年交換]



国際ロータリー
 第2690地区
 松本祐二ガバナー事務所
 青少年交換委員会 事務局

〒694-0064
 島根県大田市大田町大田イ76-6
 プラザホテルさんべ
 TEL・FAX 0854-82-5121
 E-mail: oda-rc@ginzan-tv.ne.jp
<http://www.rid2690.com/>



■ガバナー事務所

〒698-0033 島根県益田市元町 12-7 益田商工会議所 1F
 TEL 0856-25-7269 FAX 0856-25-7268
 E-mail : office@rid2690.com
 HP : <http://www.rid2690.com>
 (ホームページよりPDFをダウンロードできます。)